

東京都立浅草高等学校 令和5年度 年間授業計画

教 科：芸術 科 目：書道 I  
 対象学年：1 学年  
 教科担当者：教員一覧参照  
 使用教科書と教材は別紙を参照  
 該当教科と科目の目標  
 【知識及び技能】学習指導要領で示された内容を理解する。  
 【思考力、判断力、表現力等】学習指導要領で示された内容について表現する力を身に付ける。  
 【学びに向かう力、人間性等】学習指導要領で示された内容について日常生活に活用しようとする態度等を身に付ける。

単位数を入れると時数が自動的に出ます。

単位数 2

	指導項目・内容	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	予定時数
4月	単元名：行書の学習 知：行書の古典の基本用筆を理解する。 思：行書の古典の基本用筆を活用し表現する力を身に付ける。 学：行書の古典の鑑賞を通じ日常生活に活用しようとする力を身に付ける。	教材や一人1台端末を活用しながら、主に以下の内容について指導する。 ・幅広く書の世界を知る。 ・基本的な知識・技能を身に付けさせる。	【知識・技能】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】の3観点について、定期考査、出席状況、平常時の取り組み、課題の提出状況などを総合的に評価し、評価を行う。	○	○	○	2
5月	単元名：楷書の学習 知：楷書の古典の基本用筆を理解する。 思：楷書の古典の基本用筆を活用し表現する力を身に付ける。 学：楷書の古典の鑑賞を通じ日常生活に活用しようとする力を身に付ける。	書道の授業の受け方や提出物・評価について学ぶ。 ・行書の基本用筆を理解する。身に付ける。 ・古典の臨書を通じて行書の技法を身に付けさせる。 ・古典の形鑑がきちんとできる。					8
6月		・楷書の基本用筆を身に付ける。 ・自分の氏名を整えて書く。 ・古典の種類を理解する。 ・古典の技法用筆を理解し身に付ける。 ・古典の書き分けができる。 ・写経文化を理解し、書くことができる。					4
7月							6
8月							0
9月							6
10月	単元名：篆刻の学習 知：篆刻の古典の基本用筆、篆刻の用具用材、基本的な表現の過程について理解する。 思：篆刻の古典の基本用筆、篆刻の基本的な用力や字形を生かした表現の技能を身に付ける。 学：篆刻作品の鑑賞を通じ日常生活に活用する力を身に付ける。	教材や一人1台端末を活用しながら、主に以下の内容について指導する。					4
11月	単元名：仮名の学習 知：仮名の古筆の基本用筆を理解する。 思：仮名の古筆の基本用筆を活用し、表現する力を身に付ける。 学：仮名の古筆の鑑賞を通じ日常生活に活用しようとする力を身に付ける。	・小筆の扱い方を理解する。 ・仮名の基本用筆を身に付ける。 ・いろは歌を用筆を理解して書くことができる。 ・連綿の法則性を理解して書くことができる。 ・行の流れを理解して書くことができる。					6
12月							4
1月	単元名：漢字仮名交じりの書の学習 知：現代の書の表現と用筆、運筆との関わりについて理解する。 思：名筆を生かした表現や現代に生きる表現について構想し、表現する力を身に付ける。 学：漢字仮名交じりの書のよさを感じ、日常生活に活用しようとする態度を身に付ける。	・題材を決める。 ・草稿を作成する。 ・創作物品制作。 ・鑑賞会					8
2月							2
3月							0